

9月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで友達と一緒に運動遊びをし十分に体を動かす。(縄跳び、鬼ごっこ、かけっこ、リズム遊びなど。) ・行事に参加し、みんなで協力したり競い合ったりすることを楽しむ。(運動会など。)
-------	---

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	運動会に向けての活動を通して、動きが揃っていき楽しさや競い合う中での勝ち負けの悔しさ、苦手なことに挑戦してみる諦めない心など様々な思いや葛藤を経験しているようだった。その都度、思いを受け止めながら最後まで精一杯取り組むことの大切さを発信していったことで本番は色々な思いを乗り越え笑顔で終わることが出来た。	縄跳び、鉄棒、跳び箱等、様々な運動遊びの中で自分で目標をもって挑戦することが出来ていた。また、遊戯では関心の高い曲で表現したことにより、意欲的に参加することが出来ていた。つなつきやリレー等、友達と協力したり競い合う競技では負けた悔しさからくじけてしまい、気持ちを切り替えることに葛藤する姿も見られ、援助を必要としていた。	運動会に向けての活動を通して、様々な身体の動きを経験している。特に巧技台や跳び箱では、出来るようになった喜びを感じながら、楽しんでいる様子が見られた。また、友達を応援したり、良いところを認めたりという姿も増えてきている。同じ目的に向かう中で、少しずつ仲間意識が芽生えてきていると感じる。
自己評価を踏まえての改善点	運動会での経験を通して、友達と考えを出し合い協力して取り組む、そんなルールのある遊びや製作活動を取り入れ、お互いの良さに気づいたり、共に力を出し切る充実感を味わえるようにしていきたい。	運動会に向けて、集団で行動する場面が多かった。整列、移動等の場面では、周囲への意識が低く、行き当たりばったりで行動している姿も見られ、中には、保育者の働きかけを受けてもピンとこない様子も見られた。経験を重ねる中で、活動の目的を理解しているようだったが、今後の生活の中でも、一人一人の理解度を見極めながら知らせ、援助するように心掛けていきたい。	勝敗のある競技を楽しむ中で、勝って嬉しい、負けて悔しい、次こそ勝てるように頑張ろうなどと様々な感情を経験している。それぞれの思いに寄り添いながら、前向きに取り組めるよう援助していった。また、活動中、楽しい気持ちから気分が高揚する姿も見られた。事前に約束を知らせることで、こども達自身で意識しようとする姿が見られるようになってきた。
保護者と地域への子育て支援	友達との葛藤体験や遊びの中での試行錯誤など、こども達が日々学んでいることをクラス便りやお帳面で伝え、共に見守っていただけようにする。	園で困り感を抱えている子は、家庭でも困り感を抱えていた。園生活で楽しめた経験を重ね、その様子を家庭に発信することで子どもも保護者も前向きな気持ちに切り替えられるように援助していった。不安な気持ちに寄り添うことに加えて、保護者の良い刺激となるような援助方法を発信できるようにしていきたい。	季節の変わり目という事もあり、少しずつ風邪症状が見られている。体調の変化を見逃さず、家庭に知らせていく。
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	普段の遊びの中からこども達が興味を持っている物をW題材にして、運動会ごっこのクラス競技に繋げることが出来たことで、こども達もやる気をもって楽しみながら参加する事が出来良かったと思う。	運動会の雰囲気を感じられるように、以上児の練習を見学したり、笛に合わせて歩いてみたり、走ってみたりする活動を取り入れた。雰囲気を感じることで楽しみながら参加し、かけっこをこども達で友達を誘ってやってみようとする姿も見られていた。	運動会に向けて運動遊びや雰囲気を味わえるような活動を取り入れていく。夏の疲れも出てきているので外に居る時間や水分補給等考えながらすごすことができた。また、簡単なやり取りが日常的に取り入れていき、喃語を誘っていく。
自己評価を踏まえての改善点	職員間での連携を取りながら生活をしているが、咄嗟の対応が重なってしまうとこども達が落ち着かなくなってしまうため、話し合いを設けながら職員の動きの確認をしていく。	自分でやってみたり気持ちが更に高まっている姿も見られているが、思うようにいかず泣いてしまうこともある。泣かずに言葉で伝えられるように今後も気持ちを受け止めて、代弁しながら一人一人の様子に合わせて援助していきたいと思う。	こども達の喃語に対し、言葉や表情、動作で応えていくようにし、こども達が更に表現できるようにする。友達にも興味が出てきて、顔を触ってみたい、相手の反応を楽しむ姿も見られるので楽しい関わりを一緒にやっていき、嫌な思いをする事はしっかり伝えていきたい。
保護者と地域への子育て支援	夏の疲れが出やすい時期なので、家庭での睡眠を十分に取り生活リズムを整えていけるようにする。朝夕の寒暖差に対応するため調整しやすい衣服をもってきてもらう。	寒暖差で風邪症状の子が増えている。家庭での様子、園での様子、体調の変化に気を付け連携をしていく。	一日の中の寒暖差が激しい事や夏の疲れも出てきているので、体調の変化や衣服の調整について各家庭ともお話ししていく。